

大好き図書館！ 2017夏休みイベント  
**「たんそう図書館を攻略せよ！～迷宮の森と深海の謎～」開催！！**



今年の淡窓図書館の夏休みイベントは博物館とのコラボ企画！  
 4つの設問（ミッション）を解いて、プレゼントをもらおう！



**4つのミッション**

- ①ダンボール迷路を抜けて昆虫の森をめざせ！
- ②昆虫クイズを全問正解せよ！
- ③深海クイズを全問正解せよ！
- ④博物館で日田ん虫のナゾを解け！（特別ミッション）

▶とき 8月1日(火)～13日(日)  
 午前10時～午後6時（日曜日は午後5時まで）

**<ルール>**

- ①夏休みイベントのスタンプラリーカードを図書館カウンターでもらおう！（博物館でももらえるよ）
- ②カードに書いている4つのミッションをクリアして、スタンプをゲットしよう！
- ③スタンプが全部揃ったら、図書館カウンターでプレゼントをもらおう！

※就学前のお子さんには保護者が付き添い、迷路の外から見守りをお願いします。

**背すじがひ～んやりおはなし会**

灼熱の日田の夏に、こわ～いおはなし会を開催！  
 いつもとは一味違うおはなし会に、ちょっとだけ  
 勇気を出して参加してみませんか？

▶とき 8月5日(土)  
 午後3時30分～4時30分  
 ▶ところ 児童コーナー

家族や友達を誘って、  
 一緒にひ～んやり  
 してみませんか？

**新刊情報**

子どもつなひき騒動  
 宝井琴調／文、ささめやゆき／絵  
 福音館書店

母ひとり子ひとり、貧しいながらも楽しく暮らしていたお里と娘のお花。一方、お花の父親の再婚相手のお絹には子どもがおらず、お花が欲しくてたまらない。ある日お花が病気になる、お里はやむなくお絹にお花を託すが…。大岡越前の名さばきが光る、講談絵本。



現世怪談<2> 開かずの壺  
 木原浩勝／著  
 講談社

念がうずまく三角の家！？寝室が突然ブラックホールに！？本当に届いた「恐怖新聞」！？この世には、理解を超えた怪しい「何か」がある。「新耳袋」「九十九怪談」著者が新たに蒐集した16の実話怪談。



家電兄弟 松下幸之助と井植歳男  
 阿部牧郎／著  
 PHP研究所

蒲柳の質ながら常に時代の先端を行く幸之助を、抜群の行動力で支えた義弟・歳男。関東大震災、昭和恐慌、財閥解体…。幾多の困難を二人三脚で乗り越えてパナソニックと三洋電機を創った2人の人生を描くノンフィクション・ノベル。



**おいでよ！おはなし会**

□とき 8月12日(土)  
 午後3時～4時  
 8月26日(土)  
 午前11時～正午  
 □ところ 児童コーナー

**8月の休館日（○…休館日）**

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

世界遺産登録を目指す「咸宜園」 - 近世日本の教育遺産として - 21

**地域の自然や文化遺産を活用した教育**

**岳林寺・星隈山**

関世界遺産推進室（咸宜園教育センター内） ☎ 20268



咸宜園では構内の授業だけでなく、ときには師弟同行して、ときには塾生たちだけで、しばしば周辺の山野、河川、神社・仏閣などに出向き、弁当を開いて食事をし、詩を詠むなどを行いました。

このように、塾の休日である「放學」、山歩きをした「遊山」が淡窓の日記などに見られます。

今号では、放學・遊山の地としての「岳林寺・星隈山」を紹介します。

岳林寺（岳林永昌禪寺）は、日田屈指の名刹で、康永元年（一三四二）に中国・元の渡来僧明極楚俊禪師を開基として、日田郡司の大蔵永貞が創建したとされています。明極禪師は京都に赴く途中日田を通り、渡里郷友田村の地形が故郷の明州報化岳林寺によく似ていたため寺院建立を天皇に願ひ、後醍醐天皇の勅命により創立されたと伝えられています。古図によれば、その寺域は吹上台地を背後にして東西にかなり広く広がっていました。大蔵氏の衰微や戦国の争乱の中で一時荒廃しましたが、近世に至って再興されて現在に至っています。境内に市郷土史料館が建設され、木造釈迦三尊像、岳林寺文書などの由緒ある文化財が収蔵・展示されています。また、境内には宝篋印塔などの石造物のほか日田で没した代官等の墓碑群があります。

淡窓の日記には、天保十二年六月（淡窓六十歳）に寺西郡代の葬儀で訪れた記事や、天保七年三月（淡窓五十五歳）、天保十六年九月（淡窓六十四歳）に、岳林寺の長老に会うため訪れた記事などが見えます。

友田方面では星隈山も訪れていま

す。天保二年一月（淡窓五十歳）、弟の旭莊や塾生四名とともに三郎丸に至って星隈山に登り、山上の神祠で休憩し弁当を開いて詩を詠んでいます。

春日、星隈に遊ぶ  
 春衣して始めて試む 此の経を過ぎるを  
 古を訪ねて 一行 薜蘿に入る  
 破墓 或は伝ふ 冤鬼哭くと  
 荒墟 誰か詠す 牧童の歌  
 山は蟻塚の如く 躑躅攀なし  
 水は蛛糸に似て 掲厲多し  
 徐歩 他を愧す 頻りに我を待つを  
 夕陽 歸る処 影は婆娑たり

（春の衣服を着て始めてこの道を過ぎることになった。古い遺跡を訪ねて、次第に蕪蔓の中に入っていた。荒れた古墳（三郎丸古墳か）は、無実の人の亡霊が泣いていると伝えられ、荒れ果てた遺跡は、誰かが詩経の「狡童の歌」を詠じるといふ。山は蟻塚のように小さく、攀じ登ることも少なく、川の流れば蜘蛛の糸に似て、裾を掲げる浅瀬が多い。ゆっくりとした歩みなので、他の人が頻りに待っているのを愧じる。夕陽が沈みゆくところに、人影は衣を翻して行き来している。）

その後、安政元年（淡窓七十三歳）、弟久兵衛らと購入予定の水田を見るため、星隈山の神祠で友田村の住人たちと弁当をともししていま



岳林寺（現地写真）

**食生活改善推進員さんのおすすめレシピ**

**冷やしトマト**

トマトの真っ赤な色の正体である「リコピン」には、体をさびつかせる活性酸素を消す「抗酸化作用」があり、がん予防や生活習慣病予防等の効果が期待されています。このリコピンは、油と一緒に食べることで吸収がぐんと高まります。また、熱に強いので、炒め物や煮込み料理にして食べるのもおすすめです。



**<作り方>**

- ①トマトは湯むきして、一口サイズに切る。
- ②大葉は大きめのざく切りにする。
- ③トマトにすし酢をかけ、冷蔵庫で冷やす。
- ④食べる直前にごま油を回しかけ、大葉を和える。

**■材料■（2人分）**

- トマト 1個
- 大葉 2枚
- すし酢
- ごま油
- 大さじ1
- 少々